

I. イベント部会報告書（部会長 池辺 美紀）

1. 次代をになう！水辺とのふれあい教室（県央・県南地区）の開催

プログラム①

◆川流れと川遊び体験

開催日：平成30年7月26日（木）9時00分～12時00分

場所：綾町松原自然公園（綾南川）

参加者数：子ども54名と保護者50名 計104名

体験メニュー

「ボートに乗って川流れ」「メガネで川のぞき・水生生物の観察」「魚のつかみ取り」の3メニューを、3班に分かれて体験した。

①ボートに乗って川流れ



②メガネで川のぞき・水生生物の観察



③魚のつかみ取り



実施前の事前準備として周辺の草を刈って活動場所と通路を確保した。当日は、川の水量が豊かで安心して川流れを実施することができた。

参加者を3班に分け、宮崎大学の学生を各班のリーダーとして各メニューを体験。当団体のRACリーダー及びレスキューⅢの資格を有する者を責任者とし、宮崎河川国道事務所には川流れを担当していただき、7月に開催した水辺安全講習会の受講者には川の中で安全監視をしていただいた。

平日を開催日としたが、定員以上の申込があり参加者を抽選で選定した。キャンセル待ちが20名以上になったため、申込者に参加が難しい旨を伝えたがキャンセルが発生するまで待つとの連絡を受けていた。事業を楽しみにいただいていることが分かった。

例年、家族の恒例の行事になっているとの声も聞かれた。

各体験場所では、子どもたちの歓声と笑顔が溢れ、川を流れて面白かったことや、魚を上手く捕まえたことや、水生生物や不思議な生き物を見つけたことの感動等を、親子で対話している光景が見られ、綾南川の自然を満喫してもらうことができた。参加者の保護者から、体験メニューが充実していて、進行もスムーズと好評価をいただいた。子どもからは来年もまた来たいとの感想があった。

以上のことから、次代を担う子どもやその保護者に、川について関心を持ってもらい、川と人との関わり、川の大切さ・素晴らしさ・ありがたさを学んでもらうための学習・体験の場を提供する目的を達成することができた。



川で、初めて自然体験をされる方が多く、きれいな水に感動したり、川の流れに身を任せる「川流れ」に心地よさを感じていただくことができました。宮崎大学の学生さん、宮崎河川国道事務所の皆様にご協力いただきました。

プログラム②

◆親子でEボートに乗って川の観察体験

開催日時 計画日 8月23日(木) 9時00分～11時30分・・・台風のため延期

延期日 9月1日(土)・・・雨天のため延期

実施日 12月8日(土) 13時00分～16時00分

場 所 宮崎市役所下 大淀川河川敷

参加者数 子ども6名と保護者6名 計12名



当初は8月23日に、水辺の生物の生息地を広げる「絶滅危惧植物タコノアシ保全活動」と「Eボートで川遊び体験」を計画していたが、台風の影響で9月1日に延期をした。しかし、延期日（9月1日）も雨天のため中止の判断。その後、申込者の数名からは是非実施してほしいとの要望があったため、メニューを親子で体験できる内容に変更して再度計画し12月8日の実施に至った。

イベント当日は、寒波が襲来して大変寒い中でのイベントになりましたが、Eボートは、乗艇者全員が力を合わせないと前進しない特徴があるため、協調性や親子で力を合わせることの大切さを学ぶことができる体験になり参加者には好評だった。アンケート結果からは、「自然の力を感じた」「大淀川のことを考える機会になり、体験を通じて川をより身近に感じた」の感想があった。以上のことから、川について関心を持ってもらい、川と人との関わり、川の大切さ・素晴らしさ・ありがたさを学んでもらうための学習・体験の場を提供する目的は達成することができた。

今年度、初めてEボート体験を計画したが開催してほしいとの要望が多いため、開催時期について検討する課題が残ったが、来年度も継続して実施する。

2. 子どもの水辺・海辺安全教室の開催

実施日：◆平成30年7月22日（宮村子ども会）、◆25日（安久児童クラブ）、◆28日（本郷子どもクラブ）
◆8月7日（山之口PTA）、◆18日（都原子ども園児童クラブ）◆26日（都城姫城児童クラブ）

場 所：沖水川上流（しゃくなげの森）

参加者数：合計子ども287名

ライフジャケットの正しい装着と川で気をつけなければならない事を指導。川は楽しいところであるが間違えば命を落とすこともある事を伝え大変真剣に聞いてくれました。川で泳いだことのない保護者も多いため、流れのある川での水辺講習は子どもだけでなく保護者にも有意義であった。



川の安全教室指導の様子

3. 修学旅行カヌー体験（宮崎市観光協会、みやざき元気体験プログラム）

◆実施日 平成30年11月1日（木）

場 所 宮崎市役所下 大淀川

学 校 大阪市立汎愛高等学校

午前中・午後の2回 総数33名

◆実施日 平成30年11月8日（木）

場 所 宮崎市役所下 大淀川

学 校 大阪市立東高等学校

参加総数12名

◆実施日 平成30年11月20日（火）

場 所 宮崎市役所下 大淀川

学 校 春日南中学校

参加総数38名



修学旅行の受け入れでカヌーを実施。宮崎の自然の豊富さ大淀川の素晴らしさをカヌー体験を通して感じ

ていただいた。一生の思い出に残る体験になったことと思います。

4. Green Gift 地球元気プログラム in 宮崎県

主 催 : NPO 法人大淀川流域ネットワーク
共 催 : 認定NPO 法人日本NPO センター
協 力 : EPO 九州、宮崎県、宮崎内水面漁業協働組合、国土交通省宮崎河川国道事務所
協 賛 : 東京海上日動火災保険株式会社
後 援 : 環境省

◆「身近な川を楽しもう」第1弾

実 施 日 : 平成30年12月2日(日) 13:00~16:00
開催場所 : 天満橋下 大淀川市民緑地、大淀川
参加者数 : 体験参加者26名(子ども13名 大人13名)、スタッフ20名 計46名

【内容】

川は、様々な生物もいて、私達たちにさまざまな恵みを与えてくれます。ふるさとの川「大淀川」で、遊び楽しみながら、川の素晴らしさ・大切さ・楽しさに気づき、環境保全についてみんなで考えました。

【プログラム】

①タコノアシの保全活動



②ソリをつかって芝すべり



③E ボートで水辺の観察



④交流会（意見交換会）・ふりかえり



天気予報が外れ雨天の中での実施となり、「ソリをつかって芝すべり」と「E ボートで水辺の観察」の 2 プログラムは、汚れや雨に濡れることが敬遠される場合を想定して希望者のみの参加を声掛けしましたが、子ども達は全員が全部の 3 プログラムに参加しました。「タコノアシの保全活動」では、絶滅危惧種が近くに生息していることを知り、川の中に積極的に入って外来種を刈り取り、「ソリをつかって芝すべり」では泥んこになりながら自然を満喫、「E ボートで水辺の観察」では、乗艇者全員が力を合わせて前進する協調性を学び、普段見ることができない川面からの水辺の観察を通して、ふりかえりでは環境を守りたいと意見を述べていました。

企画の段階から、県・国土交通省宮崎河川国道事務所の担当の方から、協力をいただきました。当日は、全ての方々に各プログラムを担当いただき、安全に配慮しながら円滑に進めることができました。

「昔は、雨が降っても構わずに平気で外で遊んでいた。地域に暖かく見守る大人がいて生活の中で自然と共存していたのだと今は感じる。子どもにもっと自然体験させたい」と母親の感想がありました。

5. 大淀川クリーンアップ2018 下流

実施日 平成30年7月14日（土）

活動範囲 大淀川河口 ～ 平和台大橋 大淀川河川敷両岸

実施団体 大淀川クリーンアップ実行委員会

共催団体 国土交通省宮崎河川国道事務所

今回の参加団体：国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎県県土整備部河川課、高岡土木事務所、宮崎土木事務所、宮崎市環境保全課、宮崎市土木課、宮崎県建設業協会、宮崎県測量設計業協会、宮崎県浄化槽協会、宮崎県地質調査業協会、宮崎県造園緑地協会宮崎支部、宮崎市内ライオンズクラブ、全建緑陽会、緑陽会、大宮地区青少年育成協議会、(株)宮崎放送、九州電力(株)宮崎支社、(株)宮崎銀行、(株)宮崎太陽銀行、東京海上日動火災保険(株)、宮崎総合学院、NPO法人大淀川流域ネットワーク 計829名

収集したゴミ：燃やせるゴミ86袋、燃やせないゴミ10袋、カン・ビン7袋、プラ4袋、ペットボトル8袋



たくさんの団体やボランティア参加協力のおかげで広範囲にわたり活動ができました。

6. 水辺安全講習会

実施日：平成30年7月12日(木)

参加人数：26名(住民団体等の構成員、学生、行政職員) スタッフ含め計31名

会場：国富町農村環境改善センター、大淀川・浦之名川河川敷

主催：国土交通省宮崎河川国道事務所

主管：NPO法人大淀川流域ネットワーク

地域で水害時の救助活動や子ども達の水辺活動等に携わる皆さんを対象として、水中で安全に活動するための水辺安全講習会を開催。活動を行う際の基礎知識や技術および流水中の避難時の歩行などについて、講義と実習を通して学習しました。

【プログラム】

講義-1「水中に内在する危険箇所」(座学)

講義-2「水中活動時の留意事項」(座学)

講義-3「水中避難時の身の守り方(事故事例より)」(座学)

講義-4「水中で活動する際の基本的な装備と使い方」(実習)

講義-5「流水中の避難時の歩行法」(実習)

講義-6「流水中における救助法」(実習)

講義-7「まとめ」(座学)



◆まとめ◆

イベント部会では平成30年度、計7の事業に、のべ1,400名の方に参加いただいた。各事業の目的を十分

達成することができ、参加者それぞれが思い出になるような活動になったと思う。

また、事故もなく事業を遂行できたのは、国土交通省、環境省、宮崎県など行政機関。また、東京海上日動火災保険㈱などの企業の協力、さらには宮崎大学、宮崎総合学院など多数のボランティアの協力のおかげであります。心より感謝申し上げます。

特に、グリーンギフトプロジェクト、大淀川クリーンアップでは企業様から多大なる応援をいただき、子ども達の笑顔をたくさん集めることができました。さらに、川遊び安全教室やカヌー体験などでは川での自然体験を通じて、参加者の弾ける笑顔や、アンケートから川を愛する心の醸成がなされたと確信いたします。

イベント部会では来年度も川の自然体験を続け、ふるさとの自然の素晴らしさを伝えていきます。